エンパワーするNGO
YWCA
The Young Women's Christian Association
神戸YWCA
4・5
Apr. / May 2022

YWCA（ワイ・ダブリュー・シー・エー Young Women's Christian Association）は…
キリスト教を基盤に、世界中の女性が言語や文化の壁を越えて力を合わせ、女性の社会参画を進め、人権や健康や環境が守られる平和な世界を実現する国際NGOです。

2022年度 神戸YWCA標語聖句　希望をもって喜び、苦難を耐え忍び、たゆまず祈りなさい。（ローマの信徒への手紙12章12節）
www.kobe.ywca.or.jp

あの3・11の大震災と東京電力福島第一原子力発電所の爆発事故から11年を目前にして、まさか戦闘が世界のどこかで起きるとは全く予想できなかった。私は再び原発が攻撃されて同じような被害が起きることへの不安が再燃している。

今年3月に入って、上鳥渡（かみとりわた）地区内に保管されていた汚染土の全部が大熊町の中間貯蔵施設に運ばれたと、区長から報告があった。しかし、住居の周辺から大掛かりに運び出された東京ドーム11杯分という汚染土はこれからどうなるのか、福島の復興を妨げる大きな要因となった放射能被害の終焉はどこなのか、探りながらの日々が続いている。そこに汚染水の海洋放出という、政府の判断が実行されることが昨年明らかになった。とても短絡的な判断としか受け取れない。

福島県最南の白河市に戦争の悲惨さを伝える「アウシュヴィッツ平和博物館」がある。館長の小渕真理さんは福島YWCAの仲間で、長年心強い活動を繰り広げている。彼女から届いたメッセージをぜひ読んでいただき、核否定と憲法9条を守り抜くという福島からの願いを受け止めてほしい。

半澤敦子（福島YWCA会員）

福島から いま、伝えたいこと

アウシュヴィッツ平和博物館

小渕 真理（アウシュヴィッツ平和博物館長）

アウシュヴィッツ平和博物館は来年20周年になります。それ以前、12年間に全国110都市で「心に刻むアウシュヴィッツ」巡回展を開催し、2003年に福島県白河市に常設館をスタートさせました。アウシュヴィッツの残された記録写真やポーランドの国立アウシュヴィッツ・ビルケナウ博物館からお借りした遺品を通して、いのちの大切さや平和の価値を伝えてきました。国際ホロコーストデー（アウシュヴィッツ収容所の解放記念にちなむ日）、平和の夏まつりなど他の催しも行っています。15周年には「新作能『鎮魂』―アウシュヴィッツ・フクシマの能」を上演し大成功を収めました。

東日本大震災と福島原発事故から10年が過ぎましたが、この間、館の活動の半分は原発（核）と向き合うことになりました。アウシュヴィッツと原発は直接関係ありませんが、日本は世界で唯一の戦争被爆国であり、核は持っていなくても原発がある限り核も製造できます。原発をなくすことは核戦争を禁止することに繋がると思います。2021年に核兵器禁止条約が発効されましたが、日本は批准すらしていません。現実には、世界には多くの核が保有されています。市民の力で核廃絶の道を目指していきましょう。

福島の復興は、表向きは進んでいるように見えますが人々は分断され、道半ばです。とにかく放射能被害は長期に及びます。現在最も懸念されているのは、汚染水（国は処理水という）の海洋投棄（国は海洋放出という）です。昨年、汚染水を海に流すことが決定され、今年6月頃から工事が着工し、来年の春ごろには投棄予定です。国と東電は、原発敷地内にたまった汚染水タンクが一杯になり保管ができなくなるという理由で、海洋投棄を決したのです。現存のタンクより丈夫で大きくする、モルタル固化し保管する、汚染水発生を減らす対策など専門家による研究や提言には耳を傾けず、一番お金のかからない海洋投棄としたのです。漁業関係者だけでなく、多くの反対の声があるにもかかわらず、国も東電も聞く耳を持ちません。

昨年、「海といのちを守る福島ネットワーク」が立ち上がり、誘われて呼びかけ人となりました。汚染水の海洋投棄を止めることで「海」と「いのち」を守らなければなりません。しかし、工事が始まってしまえば、沖縄の新基地建設阻止のために毎日座り込みをしているように、私たちは福島の地でも建設反対の座り込みを始めなければならなくなるのでしょうか。みなさまも、このことを注視し多くの方に発信をしていただければ嬉しいです。

（2022年1月末 記）

2022 年度 運営委員会スタート

神戸 YWCA ビジョン
一人ひとりが大切にされる社会

2022 年度活動目標
つながりの意味を深め、共に動こう

2022 年度標語聖句
希望をもって喜び、苦難を耐え忍び、たゆまず祈りなさい。
（ローマの信徒への手紙 12 章 12 節）

2022 年度の運営委員会は、活動目標が示すように、私たちがつながることの意味を具体的な行動を伴いながら深めていく 1 年としたいと思います。

そこでまずは、ミッション―神戸 YWCA は何を目指しどう取り組むのか―について、改めて考え直し、会員全体で共通認識し、継続して取り組めるようにしていきます。

そのうえで、ミッションに基づいた会員組織の運営について、仕組みを整えていきます。

仕組みを作っていく際に注目するポイントとしては、①委員会やグループ等の位置づけ②会費制度③プロジェクト制のルール④コロナ禍における活動支援⑤セーフスペースづくりなどを考えています。

神戸 YWCA のビジョン・ミッションの達成と会員が生き生きと活動しやすくなることを目指し、アンケートやワークショップの実施、イラストを用いたわかりやすい情報共有によって、会員のみなさんとともに考えていける工夫を凝らします。

さあ、一緒に創っていきましょう。

（福田 百）

2022 年度 神戸 YWCA 運営委員

岩切幸子、金本美子、木村文子、斎藤明子、福田百、宮田泰子

会　長　木村文子
副会長　斎藤明子、宮田泰子
書　記　金本美子、福田百
会　計　岩切幸子

2022 年度 委員会担当運営委員

世界・社会委員会	斎藤・宮田
環境・くらし委員会	岩切・金本・福田
ユース・エンパワメント委員会	木村・福田
キリスト教基盤委員会	宮田
機関紙編集委員会	岩切
定期会員集会実行委員会	木村
ファンドレイジング実行委員会	木村
＜運営委員会によるプログラム＞	
新組織浸透委員会	木村・福田
地域 YWCA バーチャル訪問	木村・斎藤
つながるプロジェクト	木村
ボランティア募集	斎藤・福田
＜他センターとの連携＞ ＊陪席参加	
多文化共生センター委員会	斎藤
総合サポートセンター委員会	岩切・宮田

第 102 回神戸 YWCA 定期会員集会

3 月 21 日（土）、神戸 YWCA チャペルにて第 102 回定期会員集会が開かれました。終わりの見えないコロナ禍で時間を短縮し、無事終えることができました。オンラインで参加された方と共に会が進められ、この 1 年は自粛のため会館での活動は例年どおりできなかったものの、今までをふりかえり、新しい組織での出発を考える時を持つことができました。

開会礼拝を担当してくださったモーア・アンさんが、今月末アメリカへ帰られるためご挨拶をされました。

これからも神戸 YWCA が社会の中でニーズに答えつつ、新しい歩みができますよう願います。

（大工原 則子）

まごの手ヘルパー徒然記

「牛乳 1 本買ってきて」と言われてお金を渡された。このまま買い物に行ってしまうと、あなたはお店で悩む羽目になる。何 ml か、メーカーはどこか、成分無調整か調整か、カルシウムが多い等何か特化したものか、等々。たとえ、ここまで詳しく聞いたうえで買い物に出かけたとしても、お店に目当てのものが売り切れている場合もある。別の似たようなものを買ってきてよいのか、それとも買わなくてよいのか、予め聞いておく必要がある。レジ袋が不要であればマイバッグを借りていき、ポイントカードがあれば預かっていく。お店を探し、店内で目当ての物のコーナーを探す。レシートを忘れずにもらい、戻ったらお金を精算し、必要ならば買った物を冷蔵庫等へしまう。この一連の流れを、決められた時間内に行う。なかなかにコツのいる仕事である。

ヘルパーで家事援助を行っていると、自分が普段当たり前のようにしている家事が、実は当たり前のものではないことに気づかされる。それぞれの利用者の家事内容の違いに、個性が現れる。買い物依頼内容、冷蔵庫の中の様子、一つひとつの手がかりは小さなものだが、積み重なると利用者の人となりや生活が次第に浮かび上がってくる。好奇心の尽きない仕事である。

（まごの手職員・藤井 かえ子）

分室感謝の会

３月 19 日（土）、３月末でお返しする分室にお別れし、21 年に渡りお貸しくださった渡辺順子さんに感謝する会が持たれた。当日は渡辺さんを始め、ボランティア、会員など 25 人が集い、分室開室以来たくさんの出会いの中、楽しく過ごした日々の思い出を分かち合った。備品が片付けられ寂しかった分室が明るく華やぎ、「YWCA は人」を実感する時間だった。

（川辺 比呂子）

世界祈祷日 YouTube ライブ配信

今年もコロナ禍が収まらず、３月４日（金）に神戸聖愛教会からの YouTube でのライブ配信となった。式文はイングランド・ウェールズ・北アイルランドが担当し、小栗牧師と教会員有志の方の協力を得て、神戸 YWCA キリスト教基盤委員と有志の 10 数人が、式文に添ったシナリオの賛美と祈り、女性たちの物語を朗読した。式文テーマの讃美歌『主にある計画』と、小栗牧師が特別に挿入した『キリエ・エレイソン』を賛美した時、今、戦禍にあるウクライナへの想いと共に、世界中で災禍に苦しむ人々への祈りのネットワークとして、世界祈祷日の大切さを深く感じた。

（谷合 公江）

木曜カフェ

木曜カフェは、神戸 YWCA の地域福祉活動を地元の方々に知っていただきたい、分室に足を運んでもらいたいとの思いから、ガレージをカフェスペースに変え 2014 年 10 月にオープンしました。

その後、来館者がくつろぎやすいようにリフォームし、他団体の協力を募ってお菓子・パン・調味料・有機野菜の販売、読書会や音楽セッションに場所を提供するなど、地域の人々が気軽に集えるスペースづくりをしてきました。

新年度からは場所を本館に移して運営します。会員・ボランティア・神戸 YWCA に関わる人々・地域の人々など、誰でも参加できるスペースです。ミーティングや講座のあと、おしゃべりしたい時、ちょっと一息入れたい時など、気軽にお立ち寄りください。

（塩見 洋子）

たてこと

私の神戸 YWCA との接点は、大学を卒業した年に受講した「第５回日本語指導者養成セミナー」でした。これが私の日本語教育の出発点です。セミナー修了後、海外へ出たため神戸 YWCA との関係は途絶えてしまいました。帰国後は東京、富山、姫路で日本語教育に携わっていたのですが、私が神戸に転居した２００１年に徒歩 10 分程で行ける二宮町に神戸 YWCA が移転したことを知って、ご縁を感じたものです。

新型コロナの感染が拡大していた２０２０年３月に退職した後は、ボランティア活動で社会と繋がりたいと思っていたのですが、コロナ禍でいろいろな活動が休止していました。昨年の４月から神戸 YWCA 学院で発声・歌唱個人レッスンを受け始め、秋から声の奉仕が活動を再開したと知り、会員になりました。この活動に参加することにしたのは、視覚障害者のためのデジタル図書づくりに関心があったからです。アナログ人間の私にできるのか不安ですが、新たなチャレンジです。どうぞよろしくお願いします。

（山崎 恵）

神戸 YWCA へのおさそい

●わいわいデイルーム 会館
（神戸市地域拠点型一般介護予防事業）
毎週火曜日、10 時～ 15 時
利用についてはお近くのあんしんすこやかセンターにご相談ください。

●木曜カフェ 会館
4 月 14 日、28 日、5 月 12 日、26 日
（第 2・4 木曜日）、14 時～ 15 時 30 分
レコードで懐かしい音楽を聴きながらほっこりしませんか？（1 ドリンク 100 円～）
＊食料品の販売はありません。

●イースター早天礼拝 オンライン
神戸 YMCA/ 神戸 YWCA 合同での礼拝は 2022 年は開催いたしません。神戸 YMCA よりオンライン礼拝のお誘いをいただいていますので、ご参加ください。
4 月 17 日（日）8 時～ 9 時　＊申込不要

Zoom 詳細→ https://bit.ly/3sUWLx8

●5・3 兵庫憲法集会 その他 オンライン
平和活動グループは毎年憲法の日の集会に参加しています。ぜひご参加ください。
5 月 3 日（火・祝）13 時～
場所　みなとのもり公園と
　　ウェブ配信
ゲスト　金平茂紀さん
　　（ジャーナリスト）他
主催　総がかり行動兵庫

●カフェもぐもぐ 会館
若年性認知症の人と仲間たちのカフェ。
5 月 7 日（土）、10 時 30 分～ 15 時
場所　日本キリスト教団神戸聖愛教会
参加費　800 円（食事付）
要予約、詳細はお問い合わせください。

●ちゃいやあらんど 会館
ママと子どもたち（0 歳～幼稚園前）のグループ。
詳しいスケジュールはお問い合わせください。

会費納入のお願い

2022 年度（2022 年 4 月～ 2023 年 3 月）の会費・会友費のお支払いをお願いいたします。
2021 年度の会費が未納の方は、併せてお納めください。

＊特別な事情により会費の支払いが困難な場合は、「会費減額制度」がありますので、事務局にご相談ください。

冬季クリスマス募金

2021 年 11 月 1 日～
2022 年 2 月 28 日の募金総額
1,339,325 円
感謝とともにご報告いたします。

学院だより

2016 年 4 月より日本語・日本語教師養成コースの主任講師を務めた福井武司が 2022 年 3 月末をもって退任、4 月からは主任講師に櫻井かおり、副主任講師に小川佐由理が就任します。長年にわたる福井講師の働きに感謝いたします。なお、福井は今後も引き続き講師として勤務いたします。新体制となる日本語・日本語教師養成事業を引き続き応援してください。
（学院長・西本 玲子）

まごの手だより

介護事業所のビジョンと方向性について、2 月事務会で話し合った。「要支援の人が元気で暮らし続けることができるよう、その人らしい生活を支える。そのために重度化を防ぐことに力を入れる。もし、重度になっても、在宅での生活を最後まで支え続ける事業所になる。そのためには職員が協力し、働きやすい職場であること。」その他、多くの意見が出された。

「生活支援わいわい」は、4 月 20 日にメンバーどうしの「交流・研修会」を開催する。

居住支援は月 4 ～ 5 件のペースで相談を受けているが、研鑽の必要を痛感している。
（所長・寺内 真子）

保育園だより

年度末の 3 月には、子どもたちの「目に見える育ち」と「日々の関係性の中から生まれる心の育ち」を感じ取ることができました。

神様に守られ、変わりなく続いている子どもたちの毎日が、より安心できるものであるよう、新年度には緩やかに新しい関係を築いていきます。
（園長・梅川 玲子）

運営委員会報告

2 月 5 日、第 12 回運営委員会開催（ハイブリッド）、出席 7 人。【報告】●日本 YWCA ●LA ●理事会（①分室引越し②分室感謝の会）●指名委員会●定期会員集会進捗●会員活動・各グループの活動報告【議事】●第 101 回定期会員集会議事録承認●運営委員会活動報告・活動計画承認●2021 年度全会員活動報告承認●2022 年度全会員活動計画承認●定期会員集会進行に関する内容協議と承認

3 月 19 日、新旧運営委員会開催（ハイブリッド）、出席 6 人。【報告】日本 YWCA(中央委員会、フェスタ、運営委員候補者、LA)【議事】●2021 年度から 2022 年度への課題（2022 年度運営委員会計画の確認）●運営委員会役職と各委員会担当決定●運営委員会開催日程と担当●各委員会メンバー公募●日本 YWCA 運営委員のためのワークショップ研修　（書記・岩切 幸子）

理事会報告

2 月 12 日、2021 年度第 7 回理事会開催。出席理事 8 人、監事 2 人。検証委員会の働きを再確認し、承認。理事会および神戸 YWCA 全事業の 2021 年度活動穂報告および 2022 年度活動計画の協議承認。
（総幹事・西本 玲子）

賛助員

丸公建設株式会社　（敬称略）

編集後記

「ロシアのウクライナへの侵攻」は世界を駆け巡り、その悲惨な状況は対岸の火事ではなく、火の粉は私たちにも降りかかりそうです。　（S・T）

日本 YWCA ウクライナ支援募金

郵便振替口座
00170-7-23723
公益財団法人日本 YWCA
＊通信欄に「ウクライナ支援募金」とご明記ください。
＊神戸 YWCA 会館にも募金箱を設置しています。

神戸 YWCA へのご寄付

郵便振替口座 01100-0-10298 公益財団法人神戸 YWCA
三井住友銀行三宮支店 普通 1015232 公益財団法人神戸 YWCA
神戸 YWCA へのご寄付は税額控除の対象になります。
詳しくは事務局へお問い合わせください。

ホームヘルパー募集

誰もが地域の中で自分らしい暮らしをおくるために、
担い手となって働きませんか。

✤ホームヘルパー
常勤　月給 198,100円～
パート　時給 1,100～1,200円
登録型　時給 1,000～1,400円

✤生活支援訪問サービス従業者　900円／回

＊担当・寺内までお問い合わせください。

神戸YWCA まごの手
078-231-3156

シャマイム
担当者　佐野 睦（日本基督教団 甲東教会会員）
0120-41-1059（よい てんごく）（24 時間受付）
宗教を問わずあらゆるお葬儀をプロデュースさせて頂きます
西宮市段上町 2 丁目 13-2
URL: http://sanosousai.com